



2026年4月23日

各 位

会 社 名 犬 猫 生 活 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 佐 藤 淳
(コード番号：556A 東証グロース市場)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 兼 管 理 部 長 岩 見 真 人
(TEL：03-6698-7040)

東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2026年4月23日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

記

【個別】

(単位：百万円、%)

	2026年4月期 (予想)			2026年4月期 第3四半期累計期間 (実績)		2025年4月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率
売 上 高	4,449	100.0	53.3	3,331	100.0	2,901	100.0
営 業 利 益	606	13.6	557.1	412	12.3	92	3.2
経 常 利 益	600	13.4	569.6	413	12.4	89	3.1
当期(四半期) 純 利 益	473	10.6	127.9	340	10.2	207	7.2
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益	207 円 04 銭			148 円 84 銭		90 円 82 銭	
1 株 当 たり 配 当 金	0 円 00 銭			—		0 円 00 銭	

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
2. 2025年4月期(実績)及び2026年4月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 当社は、2024年12月13日の取締役会決議に基づき、2025年1月31日付で普通株式、B種優先株式、C種優先株式、D種優先株式及びE種優先株式につきまして1株につき10株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり当期(四半期)純利益は、2025年4月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。
4. 2025年12月15日付でB種優先株式、C種優先株式、D種優先株式及びE種優先株式のすべてを自己株式として取得し、対価としてB種優先株主、C種優先株主、D種優先株主及びE種優先株主にB種優先株式、C種優先株式、D種優先株式及びE種優先株式

1株につき普通株式1株をそれぞれ交付しております。また、当社が取得したB種優先株式、C種優先株式、D種優先株式及びE種優先株式について、2025年12月15日開催の定例取締役会決議により、同日付で会社法第178条の規定に基づき、すべて消却しております。なお、当社は、2025年12月23日開催の臨時株主総会により、同日付で種類株式を発行する旨の定款の定めを廃止しております。

5. 当社は、2025年12月15日の取締役会決議に基づき、2026年1月1日付で株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり当期（四半期）純利益は、2025年4月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

【2026年4月期業績予想の前提条件】

1. 当社全体の見通し

当社は、「すべての動物とその家族の幸せな生活のために」を経営理念とし、グローバル総合ペットケアブランドとしてペット関連事業を運営しており、オリジナルペットフードの販売を主とした生活販売を中心に、動物病院及びトリミングサロンの運営等の生活サービス、わんちゃん、猫ちゃん向けイベントの開催・ブース出展等を行うエンターテインメントの3つの領域を軸としております。

わが国のペット関連市場におきましては、飼育頭数が頭打ち傾向にある一方で、ペットの家族化・高齢化の進展を背景に、健康管理への関心が高まり、高付加価値なプレミアムフードやヘルスケアサービスへの需要が拡大を続けております。このような事業環境の下、当社は「すべての動物とその家族の幸せな生活のために」という経営理念のもと、ヒューマングレード・無添加にこだわったペットフードのD2C（Direct to Consumer（消費者直接取引））事業を主軸に、顧客基盤の拡大に努めてまいりました。

2026年4月期（2025年5月1日～2026年4月30日）におきましては、主力のペットフード事業において、引き続き積極的なマーケティング投資を行うことで新規定期会員の獲得を加速させるとともに、2025年5月にはM&Aの実施により動物病院の運営を新たに開始する等、事業の拡大に取り組んでまいりました。

このような状況の下、2026年4月期第3四半期までの実績として、売上高3,331百万円、営業利益412百万円、経常利益413百万円、四半期純利益340百万円となっております。また、2026年4月期の業績予想は、売上高4,449百万円（前期比53.3%増）、営業利益606百万円（同557.1%増）、経常利益600百万円（同569.6%増）、当期純利益473百万円（同127.9%増）となっております。

2. 業績予想の前提条件

2026年4月期の業績予想は2026年1月までの実績に、2026年2月以降の見込数値を積み上げて作成したものであります。なお、当社はペット関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(1) 各サービスの概要

当社の各サービスの概要は以下のとおりです。

① 生活販売

・自社EC販売

当社は、商品の販売開始当初より自社ECサイトを運営し、当社のECサイトを通じて商品の販売を行っております。自社ECサイトによる販売は、卸などを介さずに顧客に直接販売を行うD2Cモデルを採用しており、2025年4月期時点で当社売上高の約91%が自社ECサイトによるものであります。なお、注文の約95%（2025年4月期）は、定期的に購入・配送されるサブスクリプションモデルとなっておりますが、当社は、このサブスクリプションモデルを採用することにより、需要予測の精度向上、安定した生産・売上の確保が可能となります。

（定期購入のお届けサイクルは、最大90日まで設定可能となっておりますが、多くのお客様が約4週間に1回の頻度で購入いただいております。）また、わんちゃん、猫ちゃんはごはんやおやつを気に入った場合、基本的に同じ物を食べ続けるという特徴があり、また、消費量もある程度一定であることから、定期購入・配送のサブスクリプションモデルと非常に相性が良

く、買い忘れや購入者の買い物の手間が省けるといった付加価値も提供しております。当チャネルの収益構造はサブスクリプション会員による定期購入を基盤としており、会員数の拡大及び顧客継続率増加を目的としたオンライン広告などのプロモーション活動や商品開発を積極的に推進しております。

・他社E C販売

Amazon、楽天市場及びYahoo!ショッピングなどのE Cプラットフォームを通じた販売を行っております。これにより、当社ホームページに訪れたことのない方にも当社商品を認知していただき、購入につなげることができるため、当社商品の認知度向上及び商品体験の拡大に寄与しております。

・卸販売

ホームセンター、トリミングサロン、ペット同伴可能な飲食店といった小売店向けに、直接または卸業者を介して当社商品を販売しており、実店舗での販売を通じて、オンラインでリーチできなかった顧客への認知拡大及び商品体験の提供を図っております。なお、2025年4月末時点でのお取引先数は、ホームセンター等の大型店舗で5店舗、トリミングサロン、ペット同伴可能な飲食店等の中・小規模店舗で43店舗となっております。また、卸販売においては、オンラインでは販売していない卸販売専用の小ロットの商品も販売しており、まだ、犬猫生活の商品をご存じない方でも、より気軽に当社商品を体験できるように努めております。

② 生活サービス

動物病院（犬猫生活往診クリニック、益田ペットクリニック）及びトリミングサロン（Inu to Town）の2つを運営しております。これらの運営を通じてわんちゃん、猫ちゃんに有益なケアを提供するとともに、ペット関連事業者として専門性の高いサービスを運営することで、ペット領域における専門家としての信頼性の向上を目指しております。また、それぞれのお客様に当社の商品を紹介することにより「犬猫生活ブランド」の認知拡大も図っております。

(2) 売上高

売上高につきましては、過去の販売実績及び足元の市場動向、広告宣伝投資による新規獲得件数の見込み等を総合的に勘案して算出し、前期比53.3%増の4,449百万円としております。算定上のプロセスは以下のとおりです。

- ① 主力の自社E C販売については、既存会員に対する販売と新規会員に対する販売に分けて管理しており、既存会員に対する販売については、解約率、受注率、単価を1回目～6回目及び7回目以降の7段階に分けてそれぞれ数値を設定しております。解約率については、わんちゃん、猫ちゃんともに食事に関しては人のように飽きるといったことがなく、一度気に入った場合、同じものを食べ続けるという傾向があることから、購入回数が少ないほど解約率は高くなる一方、購入回数が多いほど解約率は低くなる傾向にあるため、商品毎の直近の実績を基に各購入回数に合わせて設定しております。受注率と単価についてはそれぞれ相関関係があり、当社の定期会員の注文は2か月に1度、2か月分をご注文の方が多数いらっしゃることから、当該点を踏まえ数値を設定しております。新規会員に対する販売については、商品毎に設定した広告費とC P Aを基に販売数を算出しており、そこに販売単価を乗じて算出しております。また、初回販売数に転換率を乗じることにより定期入会者数を算出しております。

- ② 他社 E C 販売（モール）につきましては、前期から引続き Amazon、楽天市場、Yahoo!ショッピングのみで計画しており、前期比 109%増の 423 百万円としております。
- ③ 卸販売
卸販売については、社内の営業人員の補強により、取引先の新規開拓の積極促進を見越して作成しており、前期比 167%増の 25 百万円としております。
- ④ その他（生活サービス等）
トリミングサロンにつきましては、現状の 2 店舗体制を基に作成しており、2025 年 5 月に M & A した動物病院を反映させております。

(3) 売上原価

売上原価につきましては、販売計画に基づく商品ごとの販売構成比及び O E M 委託先からの仕入価格を基礎として算出し、前期比 31.8%増の 1,141 百万円としております。なお、原価率は販売する商品構成の変動もあり前期比 4 %程度良化し、概ね 25~26%程度としております。

(4) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費につきましては、商品販売に伴う荷造外注費、荷造運賃、決済手数料等の変動費、人件費、外注費、通信費等の固定費、事業成長のための広告宣伝費を計上しております。

・変動費

売上高の増加に伴い全体で前期比 34%増の 644 百万円としております。なお、変動費率は、商品の保管、発送に係る委託先の変更等によりコスト削減に努めたことから、前期より約 2 ポイント程度減少し、約 14%としております。

・固定費

事業規模の拡大に伴い、前期比 45%増の 646 百万円としております。なお、主要な科目の状況については以下のとおりです。

給与手当・法定福利費については、従業員の増員を予定しており、既存従業員の昇給等も加味し、給与手当は、前期比 57%増の 288 百万円、法定福利費は、前期比 56%増の 47 百万円としております。

外注費については、業容の拡大に伴い、主にマーケティング部の外注費を計上したことにより、前期比 49%増の 68 百万円としております。

通信費については、新規顧客対応システムの導入及び業容の拡大等により既存システムの利用が増加したことにより、前期比 54%増の 23 百万円としております。

支払報酬料については、監査報酬の増額 2 百万円、コンフォートレター 2 百万円、証券会社の成功報酬 5 百万円、目論見書関連の費用 2 百万円、株式事務費用 0.8 百万円を計上した一方、前期は M & A 関連費用として 13 百万円（2 案件分）計上していたことから前期比 12%減の 35 百万円としております。

・広告宣伝費

広告宣伝費については、商品毎に C P A を設定、モニタリングし、投資対効果を見極めながら機動的に投下することを前提としており、前期比 38%増の 1,411 百万円としております。

以上の結果、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して営業利益を算出し、営業利益は前期比 557.1%増の 606 百万円としております。

(5) 営業外損益、経常利益

営業外収益につきましては、クレジットカードの利用のポイント還元による収益として 7 百万円を計上し、全体で前期比 45%増の 7 百万円としております。

営業外費用につきましては、借入金に係る支払利息や、株式上場に伴う一時的な費用等を織り込んでおり、全体で前期比 80%増の 13 百万円としております。

以上の結果、営業利益に営業外損益を加減算して経常利益を算出し、前期比 569.6%増の 600 百万円としております。

(6) 特別損益、当期純利益

特別損益につきましては、現時点で重要な金額の発生は見込んでおりません。

法人税、住民税及び事業税につきましては、税法上の規定に基づき 95 百万円、法人税等調整額を 26 百万円計上しております。以上の結果、経常利益に法人税等を控除して当期純利益を算出し、前期比 127.9%増の 473 百万円としております。

以上



2026年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年4月23日

上場会社名 犬猫生活株式会社 上場取引所 東
 コード番号 556A URL https://corp.inuneko-seikatsu.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐藤 淳
 問合せ先責任者 (役職名)取締役兼管理部長 (氏名)岩見 真人 (TEL)03(6698)7040
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第3四半期の業績（2025年5月1日～2026年1月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第3四半期	3,331	—	412	—	413	—	340	—
2025年4月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第3四半期	148.84	—
2025年4月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2024年4月期第3四半期及び2025年4月期第3四半期において四半期財務諸表を作成していないため、2025年4月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2026年4月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
2. 2026年4月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であることから、期中平均株価が把握できないため、記載していません。
3. 当社は、2026年1月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第3四半期	1,231	702	57.1
2025年4月期	877	362	41.3

(参考) 自己資本 2026年4月期第3四半期 702百万円 2025年4月期 362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年4月期	—	0.00	—	—	—
2026年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年4月期の業績予想（2025年5月1日～2026年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,449	53.3	606	557.1	600	569.6	473	127.9	207.04

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2026年1月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年4月期3Q	2,286,000株	2025年4月期	2,286,000株
2026年4月期3Q	—株	2025年4月期	—株
2026年4月期3Q	2,286,000株	2025年4月期3Q	2,286,000株

(注) 当社は、2026年1月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の緩やかな改善が見られる一方、不安定な世界情勢の長期化や継続的な物価上昇に加え、グローバルな通商政策の変動が景気の下振れリスクを高めており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は自社EC販売をはじめとした生活販売の拡大を進めるとともに、2025年5月にはM&Aの実施により動物病院の運営を新たに開始する等、事業の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,331,739千円、売上原価860,533千円、売上総利益は2,471,205千円となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、広告宣伝費が1,108,734千円、給与及び手当が214,635千円となったこと等により合計で2,058,929千円となり、この結果、営業利益は412,275千円となりました。

営業外収益は5,392千円、営業外費用は4,337千円の計上により、経常利益は413,331千円となりました。

特別損失として、トリミングサロン1店舗の撤退の決定に伴い、店舗撤退損を2,463千円、減損損失を1,283千円計上したことにより税引前四半期純利益は409,583千円となりました。また、法人税等69,342千円の計上により、四半期純利益は340,241千円となりました。

なお、2025年4月期第3四半期において四半期財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。また、当社は、ペット関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,035,818千円となり、前事業年度末に比べ314,094千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が179,611千円、商品及び製品が120,252千円増加したことによるものであります。

固定資産は195,210千円となり、前事業年度末に比べ39,303千円増加いたしました。これは主にM&Aの実施により、のれんが56,439千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は471,938千円となり、前事業年度末に比べ64,407千円増加いたしました。これは主に一年内返済予定の長期借入金が35,200千円減少した一方で、買掛金が39,020千円、未払金が41,565千円増加したことによるものであります。

固定負債は56,164千円となり、前事業年度末に比べ51,251千円減少いたしました。これは長期リース債務が7,247千円増加した一方で、長期借入金58,499千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は702,926千円となり、前事業年度末に比べ340,241千円増加いたしました。これは四半期純利益が340,241千円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の2026年4月期の業績予想については、本日発表の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。(業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、経済環境等の様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。)

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	243,441	423,053
売掛金	218,467	312,067
商品及び製品	110,505	230,757
仕掛品	11,909	7,422
原材料及び貯蔵品	7,075	8,953
その他	130,325	53,564
流動資産合計	721,724	1,035,818
固定資産		
有形固定資産	5,028	10,297
無形固定資産		
のれん	22,872	79,312
その他	0	2,252
無形固定資産合計	22,872	81,564
投資その他の資産		
繰延税金資産	120,468	57,311
その他	7,538	46,036
投資その他の資産合計	128,006	103,348
固定資産合計	155,907	195,210
資産合計	877,631	1,231,028

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,267	103,287
1年内返済予定の長期借入金	62,182	26,982
リース債務	—	1,094
未払金	181,905	223,471
未払費用	31,227	48,074
未払法人税等	516	883
未払消費税等	65,336	62,850
その他	2,094	5,293
流動負債合計	407,531	471,938
固定負債		
長期借入金	107,416	48,917
長期リース債務	—	7,247
固定負債合計	107,416	56,164
負債合計	514,947	528,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,000	99,000
資本剰余金	99,285	99,285
利益剰余金	164,398	504,640
株主資本合計	362,684	702,926
純資産合計	362,684	702,926
負債純資産合計	877,631	1,231,028

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

	(単位：千円)
	当第3四半期累計期間 (自2025年5月1日 至2026年1月31日)
売上高	3,331,739
売上原価	860,533
売上総利益	2,471,205
販売費及び一般管理費	2,058,929
営業利益	412,275
営業外収益	
受取利息	404
その他	4,988
営業外収益合計	5,392
営業外費用	
支払利息	2,140
支払手数料	2,196
その他	0
営業外費用合計	4,337
経常利益	413,331
特別損失	
店舗撤退損	2,463
減損損失	1,283
特別損失合計	3,747
税引前四半期純利益	409,583
法人税、住民税及び事業税	883
法人税等調整額	68,458
法人税等合計	69,342
四半期純利益	340,241

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当第3四半期累計期間(自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)

当社は、ペット関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自2025年5月1日 至2026年1月31日)
減価償却費	18,588千円